

環境マネジメントシステム

活動報告書

平成19年度



京都府亀岡市役所



目 次

1 . 基本理念・環境方針	1
2 . 環境管理組織の概要	2
3 . 環境目的・目標	3
4 . 実施計画（環境実行計画）の実施状況	5
5 . 省エネ・省資源活動結果（数値記録）	9
6 . 温室効果ガス排出量（CO2換算）	16
7 . マネジメントレビュー（環境管理総括者による見直し）	17
8 . 平成19年度の主な取り組み	17

基本理念（抜粋）

亀岡市役所は、本市最大の総合サービス事業所であることを認識し、世界環境基準に合致した環境マネジメントシステムを構築、実践することにより、職員の環境問題に対する意識の高揚を図るとともに、環境負荷の低減に配慮した効率かつ元気で明るい職場づくりをめざし、「地球市民」たる亀岡市民のライフスタイルの変革を推進します。

環境方針

環境へのやさしさは地球へのやさしさです。地球へのやさしさは自然へのやさしさです。自然へのやさしさはすべての人へのやさしさです。

20世紀から21世紀へ、環境優先の取り組みを定着させてきた私達は、さらなる学習と行動の実践を通じてその輪を広げ、環境にやさしい人づくりとまちづくりを通じて、人と自然、地球にやさしい平和な世界を目指します。

1 環境を優先したまちづくりの推進

環境基本計画、地球温暖化対策実行計画を始めとする環境保全に関連する市の各種計画を推進し、事務事業を総合的にマネジメントして、環境を優先した、計画的・効率的な行政運営を図ります。

2 法令の順守と汚染の防止

環境法令を順守するとともに汚染を引き起こす物質の使用を最小限にとどめ汚染の予防に努めます。

3 市役所における省エネルギー、省資源、リサイクルの推進

市役所(指定管理者制度適用施設及び私立病院を除く)の省エネルギー、省資源、リサイクルを推進し、率先して環境問題に取り組みます。

4 職員等の環境意識の向上

市役所(指定管理者制度適用施設及び私立病院を除く)で働くすべての関係者が環境意識を向上させるとともに環境方針を理解し、この方針に沿った活動を継続的に実践できるよう研修、訓練を行います。

5 市民提案の積極的活用

市民からの意見や提案を積極的に取り入れ、市役所の事務事業に反映します。

6 環境方針・活動の公表

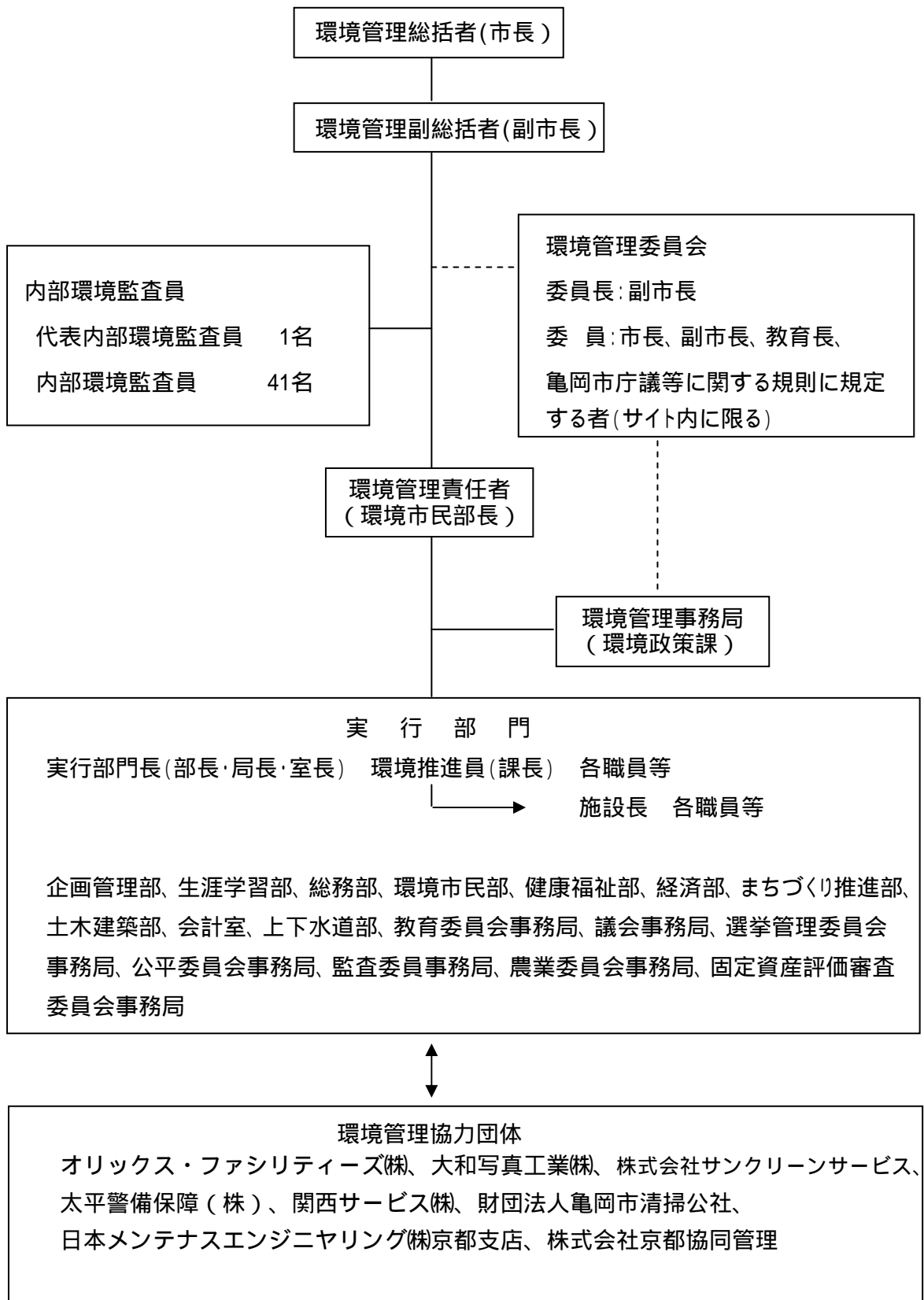
環境方針及び環境マネジメントシステムに基づく活動結果を広く市役所内外に公表します。

私達の行動におけるすべてのキーワードは、人と自然、地球にやさしい「環境」です。

2007年 4月 1日

亀岡市長 栗山正隆

環境管理組織の概要



(H20.3.31現在)

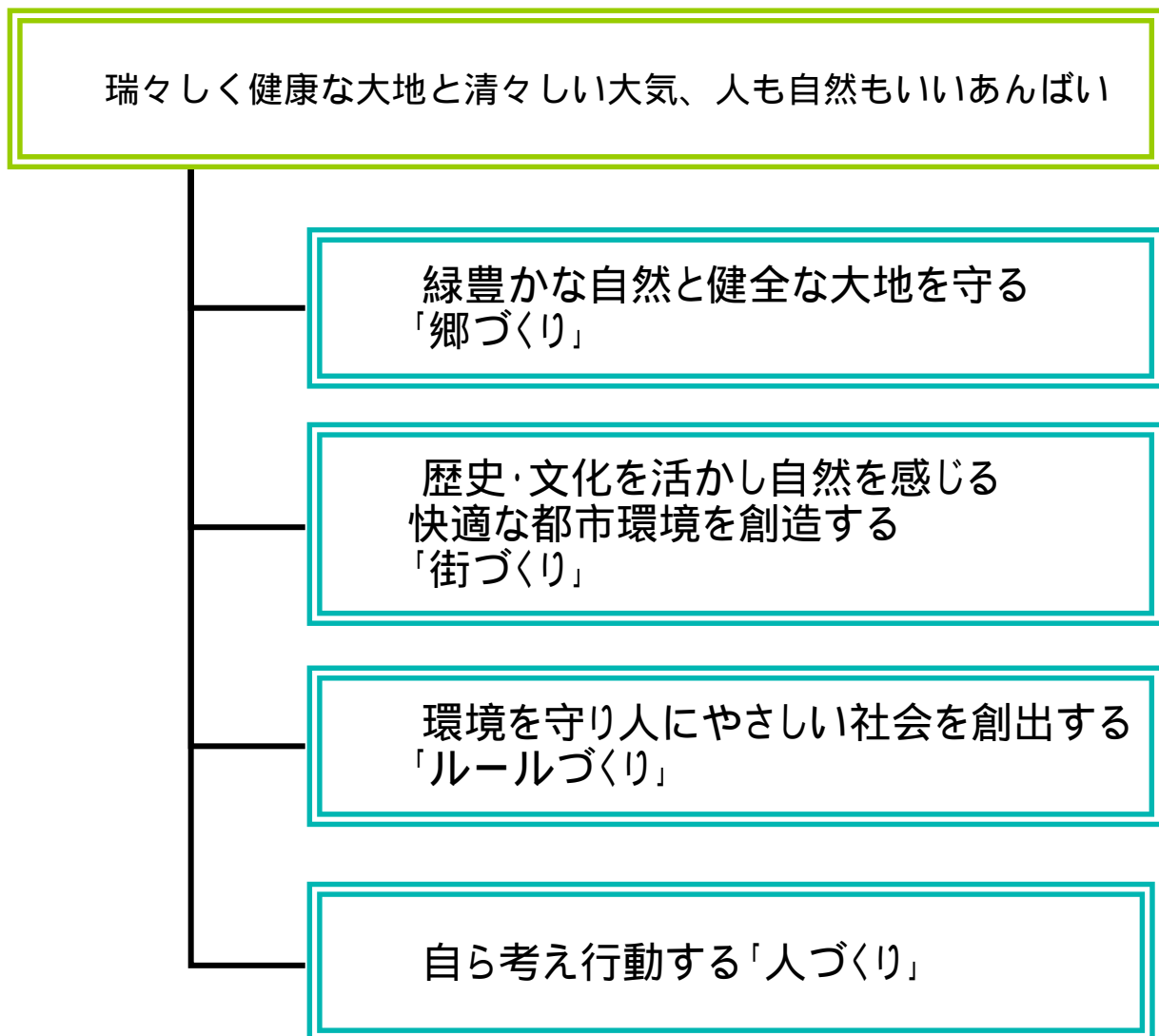
環境目的・目標

平成14年3月に策定した「亀岡市環境基本計画」では、望ましい環境像の実現のために4項目の基本目標、そして基本目標を達成するための施策の内容を設定しています。平成19年2月には「亀岡市環境基本計画」をより計画的・具体的に推進していくために「環境基本計画実行計画」を策定しました。

また、平成18年7月に策定した「亀岡市地球温暖化対策実行計画」では、平成16年度に比べ平成22年度までに、市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を3.5%削減する目標を設定しました。

環境マネジメントシステムでは、2つの「実行計画」の実施状況を管理し、計画的な執行を推進しています。

望ましい環境像・基本目標



施策の内容

緑豊かな自然と健全な大地を守る
「郷づくり」

- 1.水質の保全
- 2.水循環の保全
- 3.ふれあいの場の確保
- 4.流域自治体との協働
- 5.山の緑の保全
- 6.市民参加の森づくり
- 7.森林資源の活用
- 8.大気質の保全
- 9.自動車からの排出ガスの低減
- 10.大気の浄化
- 11.悪臭の防止
- 12.土壌環境の保全
- 13.生態系の保全
- 14.生物環境の把握と理解
- 15.新しい農業の展開
- 16.農地の保全
- 17.街と郷との交流推進

歴史・文化を活かし自然を感じる快適な都市環境を創造する
「街づくり」

- 1.景観の保全・向上
- 2.景観を守る仕組みの確立
- 3.緑の創出と保全
- 4.水辺空間の再生
- 5.公共施設の活用
- 6.交通による環境負荷の低減
- 7.公共交通の充実
- 8.下水道等の整備
- 9.騒音、振動の防止
- 10.街の美化

環境を守り人にやさしい社会を創出する
「ルールづくり」

- 1.ごみ減量化の推進
- 2.リユース・リサイクルの推進
- 3.グリーン購入等の推進
- 4.省エネルギーの推進
- 5.新エネルギーの利用促進
- 6.推進体制の構築
- 7.行政内の体制の充実
- 8.市民、事業者参加の仕組みづくり
- 9.監視、防止体制の強化
- 10.市民・事業者の環境管理意識の高揚
- 11.情報化・情報公開の推進
- 12.環境復元思想の導入

自ら考え行動する「人づくり」

- 1.人材の育成
- 2.環境教育の推進
- 3.各団体、施設との連携
- 4.団体の育成
- 5.情報の活用
- 6.活動拠点の整備
- 7.国際協力・交流の推進
- 8.地球環境問題対策の推進
- 9.地域交流の推進

実施計画（環境実行計画）の実施状況

緑豊かな自然と健全な大地を守る「郷づくり」

目 標		平成19年度の主な実施状況
1	水質の保全	合併処理浄化槽設置整備事業費補助金の交付 年間：51件 河川水質検査の実施(35定点) 年2回検査：26定点 年6回検査：9定点
2	水循環の保全	水田農業構造改革交付金を活用、水稲1,560ha・野菜等483haの取り組み 「水漏れチェック」を広報紙等で啓発、水の有効利用に努めた
3	ふれあいの場の確保	「水鳥のみち」、「和らぎの道」の路面清掃、雑草除去、施設の日常管理を地元の愛護団体に委託
4	流域自治体との協働	京都府を中心に流域自治体との連携・協働による研修会を行い、河川環境の保全・復元に配慮した復旧工法等を共通認識とした
5	山の緑の保全	森林組合を中心とした森林環境の保全(樹種転換や間伐、害虫防除による人工林の保全)を実施 行政・森林組合による定期的なパトロールの実施 年間監視日数：210日
6	市民参加の森づくり	モデルフォレスト運動による企業との協定締結：2地区 森林ボランティア団体への支援：2件 緑と水のフォーラムの開催(3月)
7	森林資源の活用	「亀岡市バイオマスエネルギー利活用詳細ビジョン」に基づき有効活用を検討
8	大気質の保全	野焼き監視パトロール時及び通報に基づき指導を実施 年間指導件数：21件
9	自動車からの排出ガスの低減	公用車の軽自動車比率の向上を実施(7月1台、8月2台、軽自動車率69.6%) アイドリング禁止等のエコドライブを広報紙等により啓発
10	大気の浄化	2007花と緑のフェスティバル開催、各種栽培講習会を実施 (4月29・30日、来場者：17,000人)
11	悪臭の防止	家庭ごみの計画的な定期収集を実施、 燃やすゴミ：16,330.77t/埋立てゴミ：1,729.74t/資源ゴミ：1,115.3t 市民からの通報等による個別指導を実施
12	土壌環境の保全	野焼きに対して、パトロール及び通報に基づき指導を実施 年間指導件数：21件 「亀岡市土砂条例」に基づく規制及び指導を継続実施
13	生態系の保全	JR複線化工事による濁水をPH・濁度を調節処理し放流 開発行為への継続指導を実施 環境保全型農業を推進するエコファーマー制度を推進 年間認定件数：41件
14	生物環境の把握と理解	ホームページに「亀岡の生きものたちのデジタル図鑑」を掲載 保津地域アユモドキ連絡協議会(年2回)を開催
15	新しい農業の展開	有機質肥料利用への助成、環境にやさしい循環型農業の推進を実施 エコファーマーを認定 年間認定件数：41件
16	農地の保全	国営ほ場整備事業等を推進 中山間地域等直接支払い制度による農地保全・活用(17集落)
17	街と郷との交流推進	かめおか農業塾を開催、 5月から：野菜コース(5回、64口)、お米コース(3回、55人) 8月から：漬物コース(5回、27人)を実施

歴史・文化を活かし自然を感じる快適な都市環境を創造する「街づくり」

目 標	平成19年度の主な実施状況
1 景観の保全・向上	亀岡市商工会議所「魅力ある城下町復活にぎわい創出プロジェクト」、南郷お堀クリーン作戦等に参加
2 景観を守る仕組みの確立	建築行為協議時における、都市景観形成基本計画及び都市景観形成ガイドプランに基づく建築景観指導の実施 年間:31件
3 緑の創出と保全	街路樹及び公園樹の剪定による維持管理作業の実施 JR駅前等花壇の植替えを、自治会、商店会、花と緑の会などの協力を得て実施、植替え花苗数:36,613ポット
4 水辺空間の再生	古世親水公園の清掃を、管理者と利用者により定期的実施 つつじヶ丘小学校ビオトープによる体験学習などの実施、地域住民への開放
5 公共施設の活用	生物との良質な生育環境に配慮した河川の整備
6 交通による環境負荷の低減	千代川駅前線等の供用開始により交通の円滑化を促進 駅前自転車等の駐車場整備による自転車利用の促進、 年間台数:延べ93,548台
7 公共交通の充実	コミュニティバス、ふるさとバスの運行 年間利用者数:延べ200,539人 JR山陰本線複線化事業、JR亀岡駅橋上化等事業を継続実施
8 下水道等の整備	公共下水道の整備:千代川町、大井町、曾我部町、吉川町、蕨田野町 地域下水道の整備:本梅地区竣工、川東・地区 広報紙「水だより」、ホームページにより水洗化の促進を啓発 年谷浄化センターにて下水道フェスティバル開催 入場者:1,200人
9 騒音、振動の防止	騒音測定を実施(3月、36箇所) 騒音規制法・振動規制法に基づく特定建設作業実施届 年間:7件 同法・京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置届 年間:17件 騒音に対する指導 年間指導件数:4件
10 街の美化	自治会等地域の美化活動への清掃用具の貸付・貸与、 年間:137件、延べ人員28,761人 雑草パトロール実施 年間除去依頼:26件・再調査、除去指導:16件 環境美化推進重点地域指定へ準備、 平成20年度2箇所(亀岡駅周辺、曾我谷川禁漁区)

環境を守り人にやさしい社会を創出する「ルールづくり」

目 標		平成19年度の主な実施状況
1	ごみ減量化の推進	<p>亀岡市循環型社会推進審議会の開催(2回)</p> <p>不燃性粗大ごみの回収 年間:78.61t/ペットボトルの拠点回収 年間回収量:132t</p> <p>給食センターにおける厨芥処理機等を有効利用したごみ減量化の実施</p> <p>資源ゴミ集団回収報奨金制度の実施 年間回収量:3,757t</p> <p>生ごみ処理機器の普及促進 生ごみ処理容器 26基 生ごみ処理機 40基</p>
2	リユース・リサイクルの推進	<p>桜塚クリーンセンター施設見学会の実施 小学校19回、自治会等20回</p> <p>「もったいない塾」開催、3回延べ参加人数26名</p>
3	グリーン購入等の推進	<p>ふれ愛エコポイントネットワーク環境行動促進事業等に対し補助金交付</p> <p>19年度取扱物品を決定、グリーン製品率118品目中53品目(44.9%)</p> <p>環境フェスタにてグリーン購入ネットワークのブース設置</p>
4	省エネルギーの推進	<p>18年度温室効果ガス排出量:16年度比 5.4%削減</p> <p>亀岡市地球温暖化対策地域推進計画中間報告書を策定</p>
5	新エネルギーの利用促進	<p>新エネルギーについて府への要望事項提出</p>
6	推進体制の構築	<p>新エネルギー普及・啓発について検討</p>
7	行政内の体制の充実	<p>独自の環境マネジメントシステムを運用</p> <p>文書廃棄業務の実施(7月)廃棄量25.58t</p> <p>石油類や試薬等危険物を日常点検・定期点検・年次点検によって適正に管理</p>
8	市民、事業者参加の仕組みづくり	<p>保津川下りの関連流域に清掃活動を実施(6月)</p> <p>亀岡市内の観光地内及びその周辺における環境保全活動を実施(2月)</p>
9	監視、防止体制の強化	<p>不法投棄監視パトロール実施 年間実施日数:241日</p> <p>不法投棄された現場に看板を設置し、啓発に努めた(2枚新設)</p> <p>専任職員1名を配置し、早期撤去を実施</p>
10	市民・事業者の環境管理意識の高揚	<p>亀岡環境の日として環境フェスタを1月19日に実施、環境意識の普及啓発実施</p> <p>農地・水・環境保全向上対策(営農活動への支援)におけるエコファーマー認定の促進</p>
11	情報化・情報公開の推進	<p>家庭ISO・環境美化条例・地球温暖化等環境情報HP掲載</p> <p>広報紙きらり 亀岡ヘコラム記事掲載</p>
12	環境復元思想の導入	<p>開発行為に関する事前協議での指導の実施 年間指導件数:42件</p>

自ら考え行動する「人づくり」

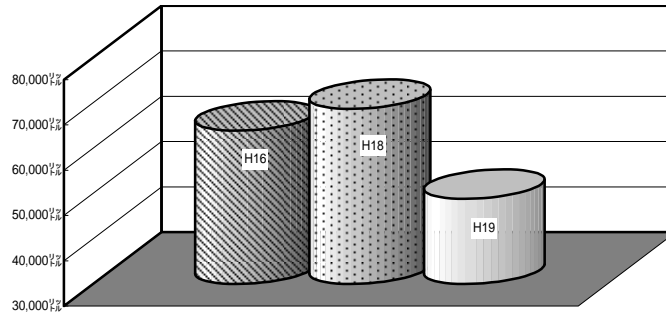
目 標		平成19年度の主な実施状況
1	人材の育成	家庭ISOについてホームページ、広報紙キラリに掲載、市内各小学校へ資料配付 家庭ISO実践を啓発、環境ファミリーの認定促進
2	環境教育の推進	公募型自然体験事業：24回、地域・学校連携事業：56回、 市民参画による運営事業：5回、子ども環境会議(1月) 学校ISOとして、小中学校での電力、コピー用紙、可燃ごみ量、水道使用量を測定 環境に関する作文や、絵画等の取組、花壇や学校水田での栽培、地域環境の調査 を実施
3	各団体、施設との連携	児童・地域住民によるクリーンアップ作戦 天若湖アートプロジェクト2007ロビーにてNPO団体等の活動を紹介
4	団体の育成	NPO情報センター活動支援のため、ガレリア施設の無償貸与等 登録団体の参加・交流促進を目的としてガレリアホームページにNPO登録等に関する 情報を掲載
5	情報の活用	ガレリアかめおかホームページにおいて、NPO情報センターの活動状況や情報誌 「ねっとくん」や登録団体の概要について掲載
6	活動拠点の整備	亀岡市まちづくり協働推進指針を作成・配布
7	国際協力・交流の推進	スティルウォーター市立中学校訪問(3月、別院中学校) ワールドフェスタ開催(2月) ワン・デイ・トリップ・ツアー実施(11月)
8	地球環境問題対策の推進	環境フェスタにおいて、地球温暖化ブース設置
9	地域交流の推進	竹林整備と竹炭づくり「竹林に入ろう」(10月、3回実施参加者：延べ51人)、 バンブーフェスタ(11月、参加者：50人) 自治会等との連携による不法投棄の撤去を実施 年間撤去件数：26件 保津川遊船の清掃・保全活動に支援を実施 環境フェスタにおいて、地球環境子ども村による子ども環境会議を実施

省エネ・省資源活動結果（地球温暖化対策項目等）

ガソリン使用量

数量

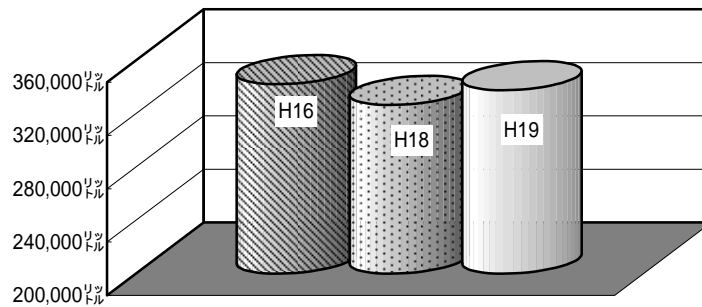
平成16年度	63,841リットル	
平成18年度	68,663リットル (7.6%増)	18/16
平成19年度	48,770リットル (23.6%減)	19/16



灯油使用量

数量

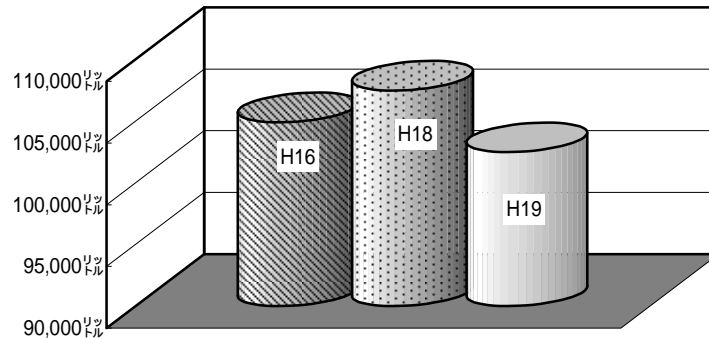
平成16年度	342,059リットル	
平成18年度	326,434リットル (4.6%減)	18/16
平成19年度	337,482リットル (1.3%減)	19/16



軽油使用量

数量

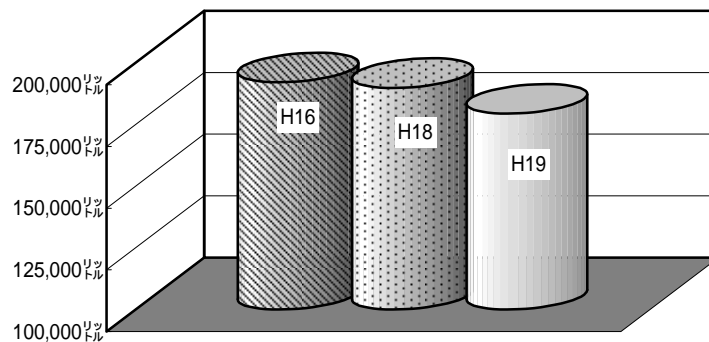
平成16年度	104,893リットル	
平成18年度	107,458リットル (2.4%増)	18/16
平成19年度	102,464リットル (2.3%減)	19/16



A重油使用量

数量

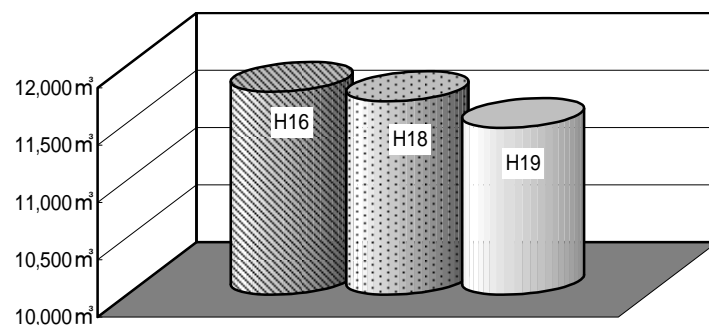
平成16年度	191,980 ^{リットル}	
平成18年度	189,724 ^{リットル} (1.2%減)	18/16
平成19年度	179,282 ^{リットル} (6.6%減)	19/16



LPG使用量

数量

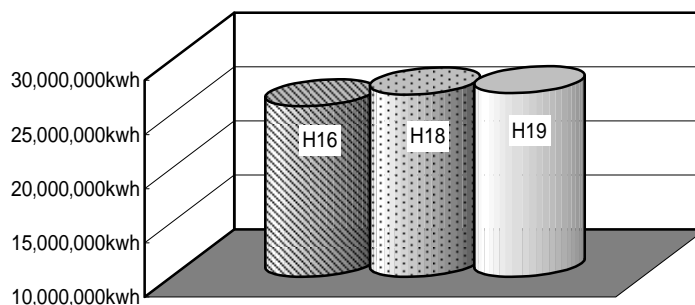
平成16年度	11,770 ^{m³}	
平成18年度	11,688 ^{m³} (0.7%減)	18/16
平成19年度	11,454 ^{m³} (2.7%減)	19/16



電力使用量

数量

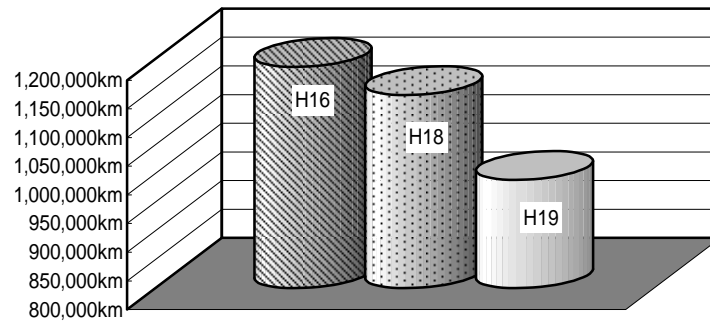
平成16年度	25,736,068kwh	
平成18年度	26,813,158kwh (4.2%増)	18/16
平成19年度	26,947,963kwh (4.7%増)	19/16



公用車走行量

数量

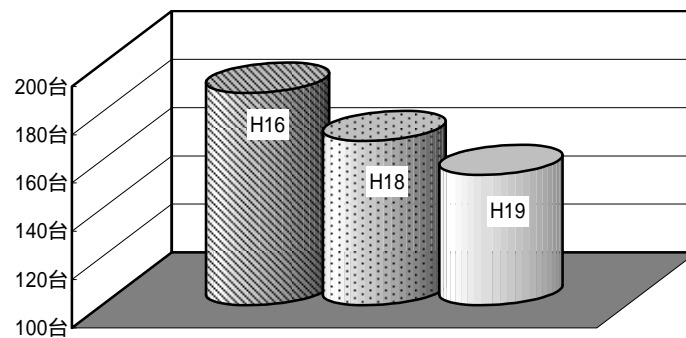
平成16年度	1,185,904km	
平成18年度	1,136,733km (4.1%減)	18/16
平成19年度	988,939km (16.6%減)	19/16



カーエアコンの使用

数量

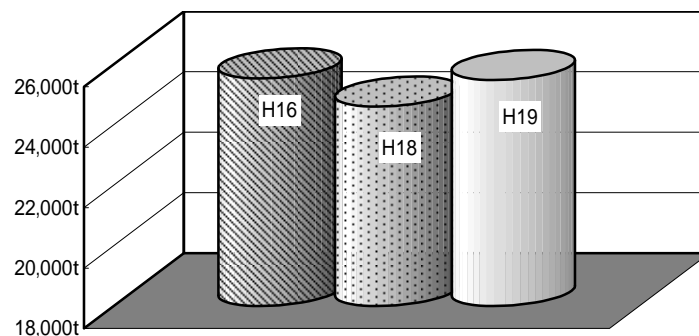
平成16年度	188台	
平成18年度	168台 (10.6%減)	18/16
平成19年度	154台 (18.1%減)	19/16



一般廃棄物の焼却量

数量

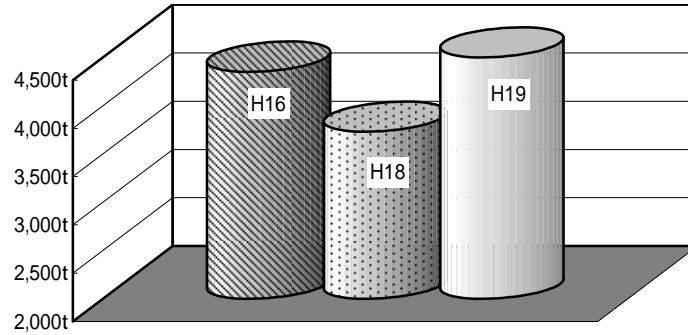
平成16年度	25,526t	
平成18年度	24,598t (3.6%減)	18/16
平成19年度	25,474t (0.2%減)	19/16



廃プラスチックの焼却量

数量

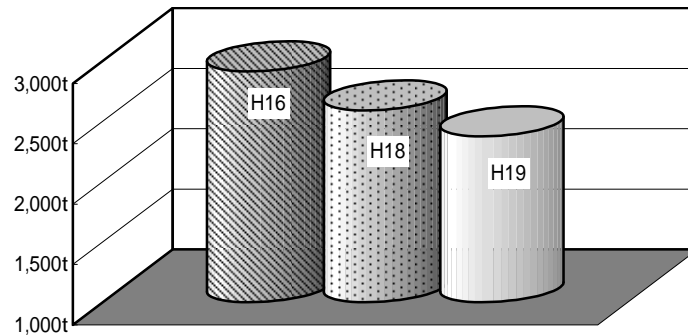
平成16年度	4,352t	
平成18年度	3,731t (14.3%減)	18/16
平成19年度	4,511t (3.7%増)	19/16



廃棄物の埋立処分量

数量

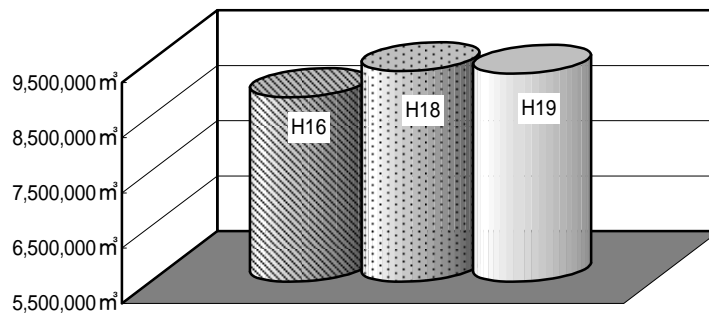
平成16年度	2,913t	
平成18年度	2,589t (11.1%減)	18/16
平成19年度	2,374t (18.5%減)	19/16



下水処理量

数量

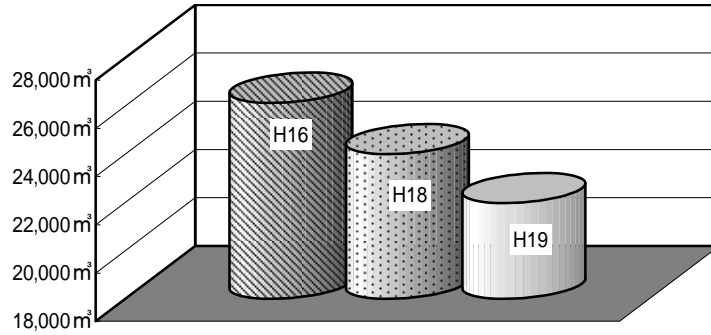
平成16年度	8,842,641 m ³	
平成18年度	9,317,005 m ³ (5.4%増)	18/16
平成19年度	9,269,755 m ³ (4.8%増)	19/16



し尿処理量

数量

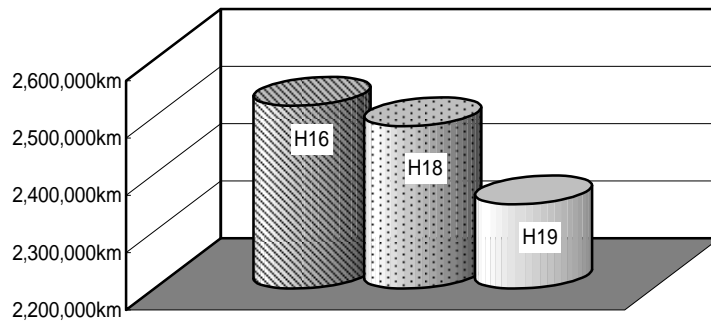
平成16年度	26,127m ³	
平成18年度	23,996m ³ (8.2%減)	18/16
平成19年度	21,960m ³ (15.9%減)	19/16



通勤車走行量

数量

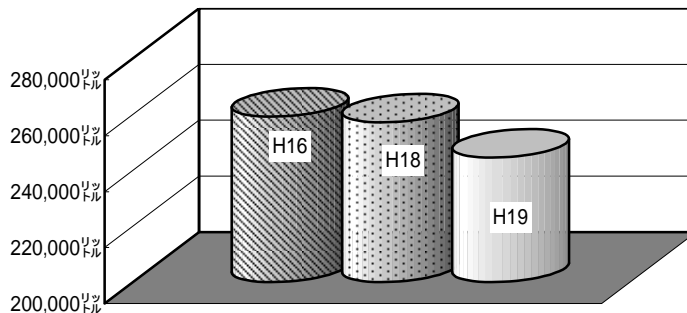
平成16年度	2,519,071km	
平成18年度	2,483,229km (1.4%減)	18/16
平成19年度	2,347,003km (6.8%減)	19/16



職員通勤車の燃料使用量

数量

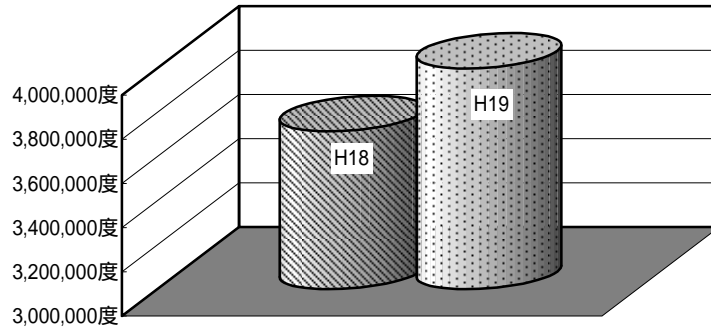
平成16年度	259,173リットル	
平成18年度	257,143リットル (0.8%減)	18/16
平成19年度	244,485リットル (5.7%減)	19/16



コピー使用度数

数量

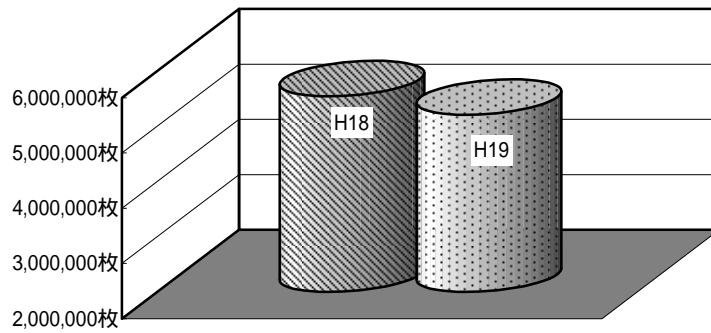
平成18年度	3,714,851度	
平成19年度	4,056,560度 (9.2%増)	19/18



コピー用紙購入量

数量

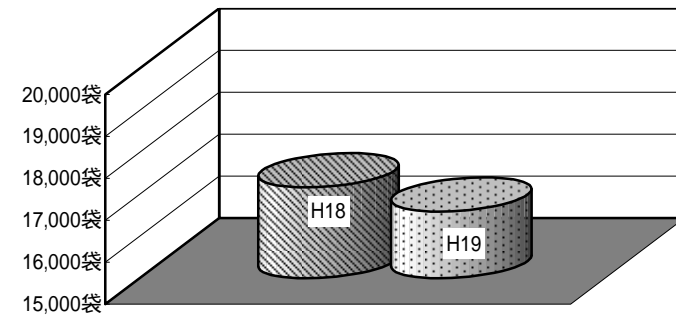
平成18年度	5,544,413枚	
平成19年度	5,211,145枚 (6.0%減)	19/18



ごみ袋発生量

数量

平成18年度	17,166袋	
平成19年度	16,587袋 (3.4%減)	19/18



環境マネジメントプログラムの実施結果の一部を金額で比較した場合（参考）

区 分	単価	H16	H18	H19	差引 (16-19) 削減できた額
		数量	数量	数量	
		金額(×)	金額(×)	金額(×)	
ガソリン使用量		63,841 ^{リットル}	68,663 ^{リットル}	48,770 ^{リットル}	15,071 ^{リットル}
	153円	9,767,673円	10,505,439円	7,461,810円	2,305,863円
灯油使用量		342,059 ^{リットル}	326,434 ^{リットル}	337,482 ^{リットル}	4,577 ^{リットル}
	98円	33,521,782円	31,990,532円	33,073,236円	448,546円
軽油使用量		104,893 ^{リットル}	107,458 ^{リットル}	102,464 ^{リットル}	2,429 ^{リットル}
	133円	13,950,769円	14,291,914円	13,627,712円	323,057円
A重油使用量		191,980 ^{リットル}	189,724 ^{リットル}	179,282 ^{リットル}	12,698 ^{リットル}
	89円	17,086,220円	16,885,436円	15,956,098円	1,130,122円
通勤車の燃料使用量		259,173 ^{リットル}	257,143 ^{リットル}	244,485 ^{リットル}	14,688 ^{リットル}
	153円	39,653,469円	39,342,879円	37,406,266円	2,247,203円
計		961,946 ^{リットル}	949,422 ^{リットル}	912,484 ^{リットル}	49,462 ^{リットル}
		113,979,913円	113,016,200円	107,525,122円	6,454,791円

「削減できた額」は、各欄の数量に同じ単価を乗じて算出・比較したものであり、実際にかかった経費を比較したものではありません。

燃料の単価は平成20年3月の契約単価で積算しています。

「通勤車の燃料使用量」欄の単価は「ガソリン使用量」欄の単価を用いています。

温室効果ガス排出量（CO2換算）

平成16年度を基準に平成22年度までに温室効果ガスの総排出量を3.5%削減する目標を設定

区分	単位	年度	数量	H18/H16 H19/H16	CO2排出量 (kg)	H18/H16 H19/H16	構成比	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	H16	63,841		148,239		0.6%
		H18	68,663	7.6%	159,435	7.6%	0.7%	
		H19	48,770	23.6%	113,244	23.6%	0.4%	
	灯油	ℓ	H16	342,059		851,385		3.3%
		H18	326,434	4.6%	812,494	4.6%	3.4%	
		H19	337,482	1.3%	839,993	1.3%	3.2%	
	軽油	ℓ	H16	104,893		274,715		1.1%
		H18	107,458	2.4%	281,433	2.4%	1.2%	
		H19	102,464	2.3%	268,353	2.3%	1.0%	
	A重油	ℓ	H16	191,980		520,266		2.0%
		H18	189,724	1.2%	514,152	1.2%	2.1%	
		H19	179,282	6.6%	485,854	6.6%	1.9%	
LPG	㎥	H16	11,770		70,632		0.3%	
	H18	11,688	0.7%	70,138	0.7%	0.3%		
	H19	11,454	2.7%	68,738	2.7%	0.3%		
電力使用量	kwh	H16	25,736,068		9,728,234		38.2%	
		H18	26,813,158	4.2%	10,135,374	4.2%	42.1%	
		H19	26,947,963	4.7%	10,186,330	4.7%	39.1%	
公用車走行量	km	H16	1,185,904		10,332		0.04%	
		H18	1,136,733	4.1%	9,415	8.9%	0.04%	
		H19	988,939	16.6%	7,829	24.2%	0.03%	
カーエアコンの使用	台	H16	188		3,666		0.01%	
		H18	168	10.6%	3,276	10.6%	0.01%	
		H19	154	18.1%	3,003	18.1%	0.01%	
一般廃棄物焼却量	t	H16	25,526		390,156		1.5%	
		H18	24,598	3.6%	375,972	3.6%	1.6%	
		H19	25,474	0.2%	389,358	0.2%	1.6%	
廃プラスチック量	t	H16	4,352		11,663,360		45.8%	
		H18	3,731	14.3%	9,998,709	14.3%	41.6%	
		H19	4,511	3.7%	12,090,583	3.7%	46.4%	
廃棄物の埋立処分量	t	H16	2,913		368,025		1.4%	
		H18	2,589	11.1%	316,386	14.0%	1.3%	
		H19	2,374	18.5%	290,913	21.0%	1.1%	
下水処理量 (終末処理場)	㎥	H16	8,842,641		602,007		2.4%	
		H18	9,317,005	5.4%	634,302	5.4%	2.6%	
		H19	9,269,755	4.8%	631,085	4.8%	2.4%	
し尿処理量 (し尿処理施設)	㎥	H16	26,127		816,364		3.2%	
		H18	23,996	8.2%	749,779	8.2%	3.1%	
		H19	21,960	15.9%	686,162	15.9%	2.6%	
合計		H16			25,447,381		100.0%	
		H18			24,060,865	5.4%	100.0%	
		H19			26,061,445	2.4%	100.0%	

マネジメントレビュー（環境管理総括者による見直し）

平成19年度マネジメントレビュー（平成20年3月21日）

1. 環境方針

環境方針については、変更の必要は無い。

2. 環境目的・目標

目的目標については継続して取り組むこととするが、新規事務事業開始による追加を行うこと。

3. 環境に関する組織

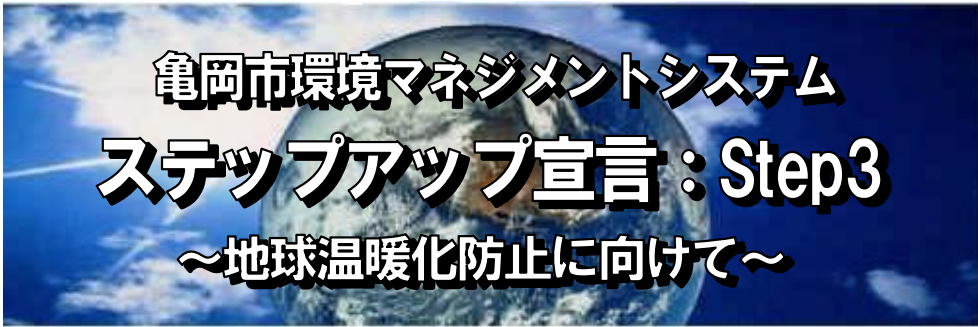
全庁的に実施しているところであり、当面は現行の体制で運用を図ること。

4. その他のシステムに関する要素

システムの運用状況は概ね良好である。内部環境監査結果では、良い点が増加しておりシステムの浸透がみられるが、一部のサイトでは是正が必要なところも見られる。指摘事項を改善し、システムの更なる充実を図ること。市独自システムとして「亀岡市環境基本計画実行計画」及び「亀岡市地球温暖化対策実行計画」の進捗状況の把握手段として引き続き運用していくこと。また、職員の意識低下を招くことがないように引き続き研修等を計画的に実施すること。

平成19年度の主な取り組み

年	月	内 容
平成19年	4月	環境マネジメントマニュアル第14版を発行(4 / 1)
平成19年	5月	第38回環境管理委員会を開催(5 / 29)
平成19年	11月	第39回環境管理委員会を開催(11 / 22)
平成19年	12月	内部環境監査員を任命(25名)
平成20年	2月	第12回内部環境監査を実施(2 / 18 ~ 2 / 29)
平成20年	3月	第40回環境管理委員会を開催(3 / 26)



亀岡市環境マネジメントシステム
ステップアップ宣言：Step3
～地球温暖化防止に向けて～

亀岡市は、環境問題を地球規模で考え、地域で行動することが重要であるとの基本理念に立ち、市役所本庁舎をサイトとする環境マネジメントシステムを構築・運用し、平成12年7月26日付けでISO14001の認証を取得しました。

平成13年11月からは第2段階として、その他の市施設への拡大を図り、あわせて学校ISO・家庭ISOを展開してISOの輪を市域に広げてきました。

今後、亀岡市は、これまでのISO認証取得で培った経験とノウハウを生かし、第三者による認証を受けず、自らがそのシステムを決定し、自らが運用することを基本に、「環境基本計画と地球温暖化対策の推進」をテーマに掲げ、亀岡市環境マネジメントシステムの第3段階へのステップアップに取り組むことを宣言します。

平成18年8月1日

亀岡市長 栗山 正隆